



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年1月29日

上場取引所 東

上場会社名 椿本興業株式会社
コード番号 8052 URL <http://www.tsubaki.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 椿本 哲也
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 執行役員 (氏名) 春日部 博

TEL 06-4795-8806

四半期報告書提出予定日 平成28年2月8日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	62,903	3.5	1,460	31.6	1,651	24.1	1,113	35.8
27年3月期第3四半期	60,760	4.6	1,109	△10.1	1,330	△9.8	820	△11.0

(注)包括利益 28年3月期第3四半期 845百万円 (△61.1%) 27年3月期第3四半期 2,170百万円 (△21.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	34.98	—
27年3月期第3四半期	25.46	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第3四半期	59,795	18,041	29.8
27年3月期	57,939	17,527	29.9

(参考)自己資本 28年3月期第3四半期 17,801百万円 27年3月期 17,304百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	3.00	—	7.00	10.00
28年3月期	—	3.00	—		
28年3月期(予想)				7.00	10.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	88,000	1.4	2,200	1.8	2,400	1.4	1,480	3.7	46.04

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期3Q	32,489,845 株	27年3月期	32,489,845 株
② 期末自己株式数	28年3月期3Q	666,784 株	27年3月期	661,223 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期3Q	31,825,839 株	27年3月期3Q	32,212,454 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注記事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照下さい。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
5. 補足情報	11
受注、販売及び仕入の状況	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国の経済は、円安、原油価格の下落を背景に輸出関連企業を中心に企業業績は概ね好調に推移しましたが、円安による物価上昇の影響から個人消費の回復に遅れが見られ、製造業の生産活動は力強さを欠き、企業の設備投資は弱含みで推移いたしました。

世界経済は、米国経済が引き続き好調に推移したものの、中国経済の減速、アジア新興国の成長鈍化や国際情勢の不安により、不透明な状況で推移しております。

このような状況下にあつて、当企業グループでは、国内の厳しい設備投資状況の中、自動車関連、半導体関連、エネルギー関連、環境関連、食品関連、物流関連、航空機製造関連業界に対して、国内外で営業協業体制を強化し、積極的営業展開を行った結果、売上高で前年同期を上回ることができました。

また、利益面においても、仕入価格の抑制、営業費用の節減に努めたことで、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益とも前年同期を上回りました。

当第3四半期連結累計期間の業績は、

売上高	6 2 9 億 3 百万円	(前年同期比 1 0 3 . 5 %)
営業利益	1 4 億 6 0 百万円	(前年同期比 1 3 1 . 6 %)
経常利益	1 6 億 5 1 百万円	(前年同期比 1 2 4 . 1 %)
親会社株主に帰属する		
四半期純利益	1 1 億 1 3 百万円	(前年同期比 1 3 5 . 8 %)

となりました。

報告セグメントの業績は以下のとおりです。

東日本本部

北海道・東北・甲信越・関東地区において機械部品から搬送設備等の自動化・省力化商品を中心に顧客のニーズにあった最適な商品を提供している部門で、その売上高は全体の約35%を占めております。

当第3四半期連結累計期間は、このエリア（地区）において自動車部品需要が弱含んだものの、比較的好調な半導体、物流、食品、エネルギー、医薬関連業界の設備投資が増加したことで、その売上高は、219億59百万円（前年同期比103.1%）となりました。

西日本本部

東海・北陸・関西・中国・四国・九州地区において、機械部品から搬送設備等の自動化・省力化商品を中心に顧客のニーズにあった最適な商品を提供している部門で、その売上高は全体の約43%を占めております。

当第3四半期連結累計期間は、このエリア（地区）において鉄鋼、液晶業界等で設備需要の足踏みが見られるものの、業績好調な化学、航空機製造、食品関連、工作機械、環境関連業界向けの設備需要の増加に支えられ、その売上高は、271億91百万円（前年同期比105.4%）となりました。

開発戦略本部

当企業グループ全体の海外ビジネスやマテリアルビジネスを担当し、それらビジネスの拡大や、制御・センシングビジネスに向けた新商品の開発にも取り組んでいる部門で、その売上高は全体の約22%を占めております。

当第3四半期連結累計期間は、中国を中心にアジア新興国の経済減速で海外における自動車関連設備等の投資が伸び悩みましたが、国内外でティーバッグ包装機等の売上が増加したことで、その売上高は、137億52百万円（前年同期比100.7%）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

1. 資産、負債及び純資産の状況

① 資産

当第3四半期連結会計期間末の総資産は597億95百万円となり、前連結会計年度末に比べ18億55百万円増加いたしました。流動資産は23億14百万円増加いたしました。主な要因は、現金及び預金が44億93百万円増加、電子記録債権が29億44百万円増加、仕掛品が3億94百万円増加した一方、受取手形及び売掛金が55億75百万円減少したこと等によるものであります。固定資産は4億58百万円減少いたしました。主な要因は、投資有価証券の時価が前連結会計年度末に比べ下落したことにより3億76百万円減少したこと等によるものであります。

② 負債

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は417億53百万円となり、前連結会計年度末に比べ13億41百万円増加いたしました。流動負債は14億59百万円増加いたしました。主な要因は、支払手形及び買掛金が9億17百万円増加、前受金が7億89百万円増加した一方、未払法人税等が3億33百万円減少したこと等によるものであります。固定負債は1億17百万円減少いたしました。主な要因は、繰延税金負債が1億30百万円減少したこと等によるものであります。

③ 純資産

当第3四半期連結会計期間末の純資産の部は180億41百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億14百万円増加いたしました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益を11億13百万円計上した一方で、配当金の支払いを3億18百万円実施したこと、投資有価証券の時価の下落に伴うその他有価証券評価差額金が2億52百万円減少したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の我が国の経済は、アジア諸国の成長鈍化に加え、株安、円高、原油安を背景に企業の設備投資に足踏みが見られるものの、雇用、所得の改善で個人消費の回復が期待できることから企業の設備投資も徐々に回復することが見込まれます。

一方、世界経済は、米国経済が引続き堅調であるものの、国際情勢不安、中国を中心としたアジア新興国の景気減速による影響が懸念されます。

このような状況下、当企業グループにおいては、受注獲得も好調に推移していることから、エリア体制を更に充実させ、各部門一体となった協業を進め、顧客密着営業を展開し、通期の目標達成に全力で取り組みます。

以上により、平成27年5月8日公表の業績予想を据え置くことといたします。

(通期連結業績予想)

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株主に帰属 する当期純利益 (百万円)
通期	88,000	2,200	2,400	1,480

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,448	9,941
受取手形及び売掛金	32,003	26,427
電子記録債権	3,085	6,030
商品及び製品	1,807	2,038
仕掛品	371	766
繰延税金資産	156	160
その他	1,322	1,181
貸倒引当金	△172	△208
流動資産合計	44,024	46,338
固定資産		
有形固定資産	1,011	995
無形固定資産	126	109
投資その他の資産		
投資有価証券	11,615	11,239
長期未収入金	1,451	1,450
その他	1,289	1,237
貸倒引当金	△1,579	△1,575
投資その他の資産合計	12,777	12,352
固定資産合計	13,915	13,456
資産合計	57,939	59,795
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	32,263	33,180
短期借入金	20	20
1年内返済予定の長期借入金	2,000	2,000
未払法人税等	497	164
前受金	1,463	2,253
繰延税金負債	15	8
役員賞与引当金	36	44
工事損失引当金	—	10
偶発損失引当金	279	279
その他	489	565
流動負債合計	37,067	38,526
固定負債		
退職給付に係る負債	1,455	1,490
長期未払金	275	256
繰延税金負債	1,403	1,273
その他	209	206
固定負債合計	3,345	3,227
負債合計	40,412	41,753

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,945	2,945
資本剰余金	1,805	1,805
利益剰余金	8,046	8,841
自己株式	△194	△195
株主資本合計	12,604	13,397
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,662	4,410
繰延ヘッジ損益	△6	△6
為替換算調整勘定	148	101
退職給付に係る調整累計額	△104	△100
その他の包括利益累計額合計	4,700	4,404
非支配株主持分	223	239
純資産合計	17,527	18,041
負債純資産合計	57,939	59,795

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	60,760	62,903
売上原価	52,725	54,282
売上総利益	8,034	8,620
販売費及び一般管理費	6,925	7,159
営業利益	1,109	1,460
営業外収益		
受取利息	3	3
受取配当金	180	226
持分法による投資利益	55	31
その他	41	30
営業外収益合計	281	291
営業外費用		
支払利息	21	20
売上割引	25	33
為替差損	0	33
その他	13	13
営業外費用合計	60	101
経常利益	1,330	1,651
特別利益		
固定資産売却益	0	7
投資有価証券売却益	—	30
特別利益合計	0	37
特別損失		
固定資産除売却損	17	9
ゴルフ会員権評価損	1	0
特別損失合計	19	9
税金等調整前四半期純利益	1,311	1,678
法人税、住民税及び事業税	481	531
法人税等調整額	△3	△18
法人税等合計	477	512
四半期純利益	833	1,166
非支配株主に帰属する四半期純利益	13	53
親会社株主に帰属する四半期純利益	820	1,113

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
四半期純利益	833	1,166
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,298	△252
繰延ヘッジ損益	1	0
為替換算調整勘定	21	△54
退職給付に係る調整額	6	3
持分法適用会社に対する持分相当額	9	△18
その他の包括利益合計	1,336	△321
四半期包括利益	2,170	845
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,147	817
非支配株主に係る四半期包括利益	23	27

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			合計 (百万円)	調整額 (百万円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円)
	東日本 本部 (百万円)	西日本 本部 (百万円)	開発戦略 本部 (百万円)			
売上高						
外部顧客への売上高	21,302	25,799	13,658	60,760	—	60,760
セグメント間の内部 売上高又は振替高	892	2,272	2,086	5,251	△5,251	—
計	22,195	28,071	15,745	66,012	△5,251	60,760
セグメント利益 又は損失(△)	744	850	△34	1,560	△450	1,109

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,560
セグメント間取引消去	△11
全社費用(注)	△438
四半期連結損益計算書の営業利益	1,109

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			合計 (百万円)	調整額 (百万円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円)
	東日本 本部 (百万円)	西日本 本部 (百万円)	開発戦略 本部 (百万円)			
売上高						
外部顧客への売上高	21,959	27,191	13,752	62,903	—	62,903
セグメント間の内部 売上高又は振替高	871	1,867	1,975	4,714	△4,714	—
計	22,830	29,058	15,728	67,617	△4,714	62,903
セグメント利益	658	1,095	183	1,938	△477	1,460

(注) 各セグメントに属する主要な商品は下記のとおりであります。

セグメント別	主要商品名
東日本本部	変減速機等各種駆動部品、コンベヤチェーン等各種搬送部品、制御機器、各種センサー、電子機器、その他伝動機器
西日本本部	クリーンエネルギー関連設備、医薬関連設備、化学機械装置、水処理装置、食品機械、その他環境装置、工作機械、産業用ロボット、各種コンベヤ、各種自動化装置、立体倉庫及び自動仕分装置、各種輸送装置を含むF Aシステム
開発戦略本部	海外における上記商品 各種不織布及びその加工品、各種合成樹脂成形機及び成形品、機能素材

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,938
セグメント間取引消去	△2
全社費用(注)	△475
四半期連結損益計算書の営業利益	1,460

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

5. 補足情報

受注、販売及び仕入の状況

(1) 受注実績

当第3四半期連結累計期間における受注実績を報告セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(百万円)	前年同四半期 増減比(%)	受注残高(百万円)	前年同四半期 増減比(%)
東日本本部	27,313	+7.8	12,558	+16.5
西日本本部	29,462	+8.4	12,584	△5.7
開発戦略本部	14,999	+0.5	3,840	+15.5
調整額	△2,624	—	△1,352	—
合計	69,150	+10.0	27,630	+14.9

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 販売実績

当第3四半期連結累計期間における販売実績を報告セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高(百万円)	前年同四半期増減比(%)
東日本本部	22,830	+2.9
西日本本部	29,058	+3.5
開発戦略本部	15,728	△0.1
調整額	△4,714	—
合計	62,903	+3.5

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(3) 仕入実績

当第3四半期連結累計期間における仕入実績を報告セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	仕入高(百万円)	前年同四半期増減比(%)
東日本本部	20,095	+1.7
西日本本部	25,252	+2.6
開発戦略本部	14,264	+2.7
調整額	△4,714	—
合計	54,897	+3.6

(注) 上記の金額は、仕入価格で表示しており、消費税等は含まれておりません。